

給食費の引き落としについて

5月7日(火)に4・5月分(2か月分)の給食費(1年生7492円、2年生8200円・中学年8680円・高学年9200円※それぞれ別途手数料10円がかかります)が引き落とされます。今年度初めての引き落としになります。連休後になりますので、残高にご注意ください。

「五節句(五節供)」と行事食について知ろう!

5月5日は、国民の祝日「こどもの日」ですが、男の子の健やかな成長を祝う「端午の節句」でもあります。節句と名のつく行事はほかに、1月7日の「人日の節句」、3月3日の「上巳の節句」、7月7日の「七夕の節句」、9月9日の「重陽の節句」があり、まとめて「五節句(五節供)」と呼ばれます。

1/7 人日の節句 (七草の節句)  七草がゆ	7種類の若菜を入れた「七草がゆ」を食べて、一年の無病息災を願います。若菜は、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロで、春の七草ともいいます。 ナズナ  セリ ゴギョウ  ハコベラ  ホトケノザ  スズナ  スズシロ 
3/3 上巳の節句 (桃の節句)  はまぐりのうしお汁	「ひな祭り」の名で親しまれ、桃の花やひな人形を飾り、女の子の健やかな成長を祝います。行事食には、「ちらしずし」「はまぐりのうしお汁」「ひしもち」「ひなあられ」などがあります。  
5/5 端午の節句 (菖蒲の節句)  かしわもち	かぶとや武者人形、こいのぼりを飾り、「ちまき」や「かしわもち」を食べて、男の子の健やかな成長を祝います。香りの強い菖蒲を入れたお風呂につかり、厄を払う風習もあります。 
7/7 七夕の節句 (笹の節句)  そうめん	願い事を書いた短冊を笹竹につるし、技芸上達、豊作などを願う「星祭り」が行われます。行事食として「そうめん」が食べられていますが、夜空に浮かぶ天の川や、機織りに使う糸に見立てているなど、いろいろな由来があります。 
9/9 重陽の節句 (菊の節句)  きくしゅり 菊料理	菊の強い香りで邪気を払い、長寿を願います。現代では、あまりなじみがありませんが、江戸時代には五節句を締めくくる行事として、菊の花見をするなど、一般の人びとの間でも盛大に行われていました。 